



西中だより

第17号 令和5年9月29日(金)

学校教育目標 「 知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成 」

発行：校長 寺田 是

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

今年度の全国学力・学習状況調査が4月19日に行われました。その結果が、全国や県の状況とあわせて、各校に通知されましたので、本校の傾向や今後の改善の方策などについて、お知らせします。

○その前に・・・全国学力・学習状況調査とは・・・

毎年、本校では、「全国学力・学習状況調査」の結果などを学校だよりや学校HPでお知らせしています。その前に、この機会にあらためて、「全国学力・学習状況調査」とは、どんな目的で、どんな内容で行われているのかを、確認しておきたいと思います。以下に、そのポイントを示します。

- 実施主体:文部科学省
- 対象となる学校・学年:全国の小中学校の最高学年全員(小6、中3)
- 調査内容: ①**学力調査**:国語・数学を基本とし、3年に一度、英語や理科を加える ※今年度は英語
②**学習状況調査**:学習環境や生活環境を問う質問紙調査(アンケート)
- 目的:学校においては、自校の生徒の学力や学習環境・生活環境を把握・分析し、今後の指導の充実や改善に役立てる
- 実施時期:例年4月中下旬、各校による自校の結果公表は9月中

○まず、「学力調査」の結果をお知らせします

学力調査(国語・数学・英語)

今年度は、国語と数学と英語の3教科で実施されました。

右に、山梨県と全国の平均正答率を示します。

本校の結果(平均)を、国・県と比べると、次のようになります。

〔国 語〕

全国・県を上回る

正答率

	国語	数学	英語	
			総合	話すこと
全国平均	69.8	51.0	45.6	12.4
山梨県平均	70	50	43	

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

- ① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 15問中14問
 - ・二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する
 - ・原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す
 - ・現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く 他
- ② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中0問
 - ・なし
 - ※「落胆する」の意味として適切なものを選択する」問題が2ポイント程度、全国を下回ったのみ

(2) 今後の取組

- ・全体として全国平均を上回っており、基本的な知識・理解、思考力・判断力・表現力の双方でよい結果が出ているので、今後も、活用と習得のバランスのとれた授業を行っていきたい。
- ・全国平均と比較して、低かったのは「落胆する」の意味を選ぶ問題であり、平均よりは高いが、正答率が低かった問題は漢字の書き「おし量って」となっている。いずれも、言語にかかわる基本的事項なので、「語句の意味調べ」や「漢字の小テスト」を行うなど、繰り返し復習していきたい。
- ・今回初めて取り入れられた「話すこと」については、全国を上回っているものの、全国の傾向同様に、正答率自体が低いので、これまで以上に、自分の感じたことや考えたことを英語で話すスモール・トークなどの活動場面を増やしていくようにする。



(数 学)

全国、県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

- ① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 15問中7問
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する(グラフや式を用いて、選手Aが選手Bに追いつくのは、C地点から何mの地点になるかを求める方法を説明する)
 - ・累積度数の意味を理解している(女子自由形記録の、最小の段階から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める)
 - ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる(はじめの数にかける数が2、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する) 他
- ② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中0問
- ・なし
- ※「 y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、正しい記述を選ぶ」と「1961年～1975年の四分位範囲を求める」が0.5～2ポイントほど下回ったのみ

(2) 今後の取組

- ・全体的には、全国平均と比べて高い傾向にあり、特に、説明する問題が高い傾向にある。基礎・基本を確実に習得させるとともに、生徒自身が説明したり、意見交流する授業をこれからも工夫していきたい。
- ・全国平均よりも低かった2問は、反比例の比例定数の意味理解と四分位範囲を求める問題である。比例定数および四分位範囲も含め、数学的な用語や概念の意味やそれが表すものを具体的に確認しながら、理解を深めていきたい。

(英 語)

全国、県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

- ① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 17問中7問
- ・情報を正確に聞き取る(ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する)
 - ・社会的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる(ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する)
 - ・未来表現 *be going to* の肯定文を正確に書くことができる(与えられた英語を適切に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を選択する) 他
- ② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中1問
- ・文と文との関係を正確に読み取ることができる(図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する)



(2) 今後の取組

- ・「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」の全てで全国平均より高い結果となった。今後も、四つの領域のバランスと融合のある授業づくりを心がけていきたい。
- ・個別に見ると、文と文の関係を読み取る問題や読んだことに対する自分の考えを書く問題に課題が見られたので、英語で書かれた文章を読んだり、読んだ内容について自分の考えを記述したり意見交換する場面を授業の中でさらに設けるようにしていきたい。



西中だより

第18号 令和5年9月29日(金)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

「学習状況調査(質問紙調査)」の結果についてお知らせします

○結果の概要(「本校の良さ」と「課題」)

生徒の学習環境や生活環境を把握するために、全72問からなる質問紙調査(アンケート)が行われました。以下に、全国や県と比べて、であった事柄(質問項目)を示します。

(本校の良さ(全国を5ポイント以上上回った項目)) ※印は10ポイント以上上回った項目

○授業

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれる 93%
- 先生は、分かるまで教えてくれる 93%
- 自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表している 77% ※
- 授業では、課題解決に向けて、自分で考え取り組んでいる 86%
- 話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げられている 89%

○将来の夢、道徳心

- 将来の夢や目標を持っている 72%
- 人が困っているときは進んで助けている 95%
- 人の役に立つ人間になりたい 99%

○学校生活

- 困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人に相談できる 72%
- 学校に行くのは楽しい 88%
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい 88% ※

○家庭学習

- 家で自分で計画を立てて勉強している 63%
- 土日に1日あたり2時間以上勉強している(塾・家庭教師を含む) 54% ※
- 平日30分以上、読書をする 39% ※
- 読書が好き 80% ※

他



(本校の課題(3ポイント以上下回った項目)) ★印は全国を下回ったもの

- 朝食を毎日食べている 87%
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている ★ 他

○まとめ

- 全72項目中、9割以上の項目で全国平均を上回っており、「授業」、「将来の夢・道徳心」、「学校生活」、「家庭学習」など**全般的に良好**である。「早寝・早起き・朝ご飯」と言われる**規則正しい生活については少数であるが確立されていない生徒がいる**。
- 家庭学習については、**計画を立てて学習している生徒が多く、ある程度、学習習慣は確立**されていると言える。一方で、学習時間(厳密には、「学校外での学習時間」であり塾や家庭教師も含む)を見ると、土日、平日で、1日あたり2時間以上勉強している生徒の割合は、それぞれ54%、35%と全国を上回っているものの、裏を返せば、**土日では4割以上、平日では6割以上の生徒が、2時間未満の学習時間ということであり、さらなる家庭学習の改善**に取り組んでいきたい。

以上、前号と今号で、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお伝えしてきました。本校の生徒の良い点が多く確認された一方で課題も明らかになりました。この結果を全教職員で共有し、さらなる改善に向けて取り組んでいきますので、今後も、本校の教育へのご理解とご協力のほどをお願いいたします。